

記者発表資料

【防災情報】 福島河川国道事務所

地震災害情報

第15報

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
平成23年 3月13日 23時00分発表

平成23年3月11日14時46分頃発生した東北地方太平洋沖地震により、福島河川国道事務所では「非常体制（河川・道路）」に入っております。

また、管内所管施設（国道4号・13号、阿武隈川、砂防）の状況は以下のとおりです。

1. 事務所の体制

河川:3月11日 14:46 非常体制

道路:3月11日 14:46 非常体制

砂防:3月11日 14:46 非常体制

3月12日 19:00 注意体制

2. 所管施設等の状況

別表被害状況のとおりです

3. リエゾン派遣

福島県へリエゾンを2名派遣しました。

4. その他

・被災箇所が存在する可能性がありますので、道路の走行には十分な注意をお願いします。

・道路の被災等を発見したら、下記へご連絡下さい。

○ 高速道路・国道・県道

#9910

○ 市町村道

最寄りの市役所、役場へ

《 発表記者会: 福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ 》

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所 副所長(河川) 佐々木 秀明 (内線204)

副所長(道路) 向井 秀一 (内線205)

TEL 024-546-4331(代表)

阿武隈川の洪水情報・水位情報及び道路災害情報は

福島河川国道事務所ホームページでも提供中です。

ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

別表被害状況(第15報)

	路線・河川名	場所	状況
【道路】	4号	福島市伏拝(266.3kp)	法面崩落 黒岩交差点～伏拝交差点上下線通行止め 3月11日23:00土砂撤去開始 3月12日9:00から福島警察署、福島市消防本部の現地立ち会いを要請 3月13日11:00 崩落土砂の撤出を開始しました。応急復旧については対策を検討中です。 3月13日23:00 国道上の崩落土砂の中に巻き込まれた歩行者及び通行車両などの人的被害は無いことを確認した。残る土砂の撤去を本格的に推進している。
	13号		3月12日13:20 点検の結果、大きな被害無し。 3月13日9:15 パトロール開始。現在のところ被害は確認されていません。 3月13日16:40 パトロール終了。13号は、車両の通行に支障がある異常はありません。
【河川】	阿武隈川上流	伊達市粟野	(右)11.3k 堤防2～3m沈下 伊達崎橋～東根川水門 右岸約290mの区間で堤防天端及び法面崩れ、クラック多数 伊達崎橋と堤防、通行止め 18:50 応急復旧着手 3月13日16:00 応急復旧完了。今後の本復旧に向け準備中。
【砂防】	阿武隈川水系砂防		3月12日6:00より砂防施設点検を開始 3月12日13:10 砂防流域については、点検の結果、主要施設に大きな被害無し。 3月12日14:00 注意体制に移行